

### 「人権の花」運動開会式

## 命の大切さと思いやる心を育む

4月24日、蔵之元小学校(山田哲夫校長)で「人権の花」運動開会式が行われました。

「人権の花」運動は、花を育てることで命の大切さを学び、相手への思いやりを育てることを目的として、鹿児島県方法務局と県人権擁護委員連合会が昭和60年から実施しており、本年度は同校も取り組むことになりました。

式では、下平隆康人権擁護委員から児童らにひまわりの種などが贈られ、児童を代表して小浦優斗さん(6年)が「運動を通じて、1年間みんなで大切に花を育て、美しい花や、優しい言葉があふれる蔵之元小学校を作っていきます」と決意を述べました。



↑同運動のマスコットキャラクター「人KENまもる君」と「人KENあゆみちゃん」の人形も贈られました

### 園児らがジャガイモを収穫

## 長島の春の風物詩を体験

指江保育園の園児ら32人が4月28日、本町の春の風物詩となっている、赤土ジャガイモの収穫を体験しました。

この日は、濱崎敏彦さん(指江)と大西藤男さん(指江)が作付していた同保育園前の畑で体験。園児たちは、機械で掘り起こしたジャガイモを拾い、表面の土をはらって丁寧にケースに入れてきました。

参加した、道添天翔くんは「初めてジャガイモ掘りをしてとても楽しかった。カレーライスに入れて食べたい」と満足げに話していました。



↑掘りたてのジャガイモを手にする園児たち

### 獅子島で招魂祭とつつじ祭り

## 戦没者をしのび平和を願う

獅子島の恒例行事「獅子島招魂祭」と「つつじ祭り」が4月29日、七郎山山頂で行われました。

山頂の慰霊碑の前で行われた慰霊祭では、遺族や各種団体の関係者らが玉串を捧げ戦没者をしのびました。

広場に会場を移した後は、つつじ祭りを開催。獅子島小中学校の児童による奉納相撲や、獅子島七郎太鼓の披露、芸能大会が行われました。

多くの島民らが集まり賑わった七郎山山頂は、赤く色付いたつつじと共に歓声と熱気に包まれていました。



↑山頂付近を、赤く包むつつじ